

中間評価報告書

第1回評価委員会 平成30年8月21日(火)

研究種別	重点化研究	
研究課題名	再生可能エネルギーを活用した夏秋イチゴ収穫期拡大技術の開発	
研究期間	平成29年度 ~ 平成31年度	
	評価項目	平均点
1	研究計画の進捗度	3.4
[コメント] 目を見張る成果はまだ得られていないもの、現時点までの研究結果からは計画の変更等の必要性は見られない。地下水、太陽光熱、太陽光発電の再生可能エネルギーをイチゴのクラウン温度制御に利用することで、収穫期拡大の可能性が見えてきた。着実なデータの集積を心がけて欲しい。また、平坦地や高冷地に適した品種選定や開発を継続することで研究目標は達成が期待できるので、生産者との論議を踏まえながら研究を進めて欲しい。		

中間評価報告書

第1回評価委員会 平成30年8月21日(火)

研究種別	重点化研究	
研究課題名	難防除獣害に対する新技術の開発及び既存技術の効果検証	
研究期間	平成29年度 ~ 平成31年度	
	評価項目	平均点
1	研究計画の進捗度	4.0
[コメント] 研究計画は極めて順調に進捗しており、計画の変更等の必要性は見られない。電気柵については、水路形状や流下物に対応した設計がなされ、その有効性が十分に検証されつつあると判断した。一方、視覚、嗅覚、聴覚利用による防除方法については、「慣れ」等の問題は残るものの、実用化への可能性のある使用法も認められる。残りの期間において、より実用化に近い技術開発を期待したい。		

中間評価報告書

第1回評価委員会 平成30年8月21日(火)

研究種別	重点化研究	
研究課題名	夏秋トマトの高品質化・高機能化・省力化栽培技術の確立	
研究期間	平成29年度 ~ 平成31年度	
	評価項目	平均点
1	研究計画の進捗度	3.6
[コメント] 目を見張る成果はまだ得られていないもの、現時点までの研究結果からは計画の変更等の必要性は見られない。県の主力農産物である中玉トマトおよび大玉トマトを対象として、多方面からの検討が行われている。省力・低コスト化栽培に向けた品種選定は進んでいるが、今後は、省力・低コスト化と生産性とのバランスを考慮しながら研究を進めて欲しい。		

中間評価報告書

第1回評価委員会 平成30年8月21日(火)

研究種別	重点化研究	
研究課題名	富士山やさい生産に適した低コスト施設による新規栽培法の確立	
研究期間	平成29年度 ~ 平成31年度	
	評価項目	平均点
1	研究計画の進捗度	3.8
[コメント] 目を見張る成果はまだ得られていないもの、現時点までの研究結果からは計画の変更等の必要性は見られない。簡易トンネルの大型化による省力的、低コスト的栽培技術の確立に取り組んでいるが、施肥方法、栽培品種についての検討を行うことで、多くの成果が得られることを期待したい。また、品質と生産性のバランスやブランドとしての農作物を意識して、生産者との論議を踏まえながら研究を進めて頂きたい。		

中間評価報告書

第1回評価委員会

平成30年8月21日(火)

研究種別	重点化研究	
研究課題名	特産野菜に含まれる機能性成分および栄養成分の実態把握	
研究期間	平成29年度 ~ 平成31年度	
	評価項目	平均点
1	研究計画の進捗度	3.6
[コメント] 目を見張る成果はまだ得られていないもの、現時点までの研究結果からは計画の変更等の必要性は見受けられない。高齢化社会では欠かすことができない医食同源に関して、作物中に含有される機能性成分の検討を行うことは重要である。山梨県産の作物について抗酸化機能を有するビタミンC含量、優位性などのデータが着実に集積されつつある。今後は、実態把握のみに終わらず成果の活用法を考えながら研究を進めて欲しい。		